昭和40年1月25日

広報 おおず

発行所
大洲市役所
編集
総務課
(月1回発行)

1月

11月末市の人口

人口	41.850
男	20.055
女	21.795
世帯数	9.897
面積	240.93平方キロメートル

引越されたときは必ず
◎住民登録と
◎国民年金の
手続きを

森永市長死去

地方進展に貢献

市葬に市民ら二千人

故森永市長の死を惜んでしめやかに市葬（南中で）

森永市長は、すい臓ガンのため県立中央病院に入院、加療中のところ、十四日午前十一時二十分死去されました。（六十五才）十九日には、一般市民ら二千人が参列し、南中体育館で市葬が行なわれました。

葬儀には遺族の長男健一さんらのほか、県知事代理をはじめ、県下十市長、各界の名士、一般市民ら三千人が参列、まず祭主にあたった岩村助役が祭文を、小山知事代理、梶田県議、原田北条、中川宇和島、魚本八幡浜の各市長らが故人の功績をたたえ弔辞をのべ、会葬者一同、永眠された故森永市長の遺徳をしのびました。

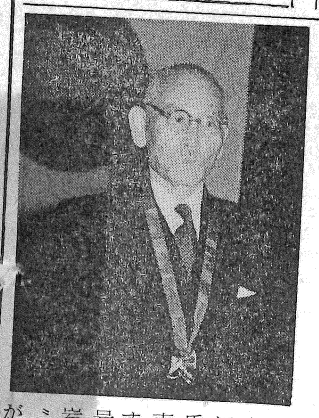
故森永市長は、明治三十二年市内柳沢に生まれ、苦学して昭和四年には、三十歳の若さで当時の柳沢村の村議会議員に当選、その職にあること十一年余、戦後、昭和二十二年にはじめて県議会議員となり、以後四期連続して県議に当選、その間各常任委員長、副議長議長など幾多の要職を歴任、地政界の重鎮として郷土の発展にくされました。

また、この間に南予自動車運輸商業組合理事長、喜多郡貨物自動車専務、予州自動車社長、昭和三十六年には全国道路利用者会議副会長として、オーストラリアで開かれた世界道路利用者会議太平洋地域大会に日本代表として出席するなど輸送業務にも多くの業績を残されました。

昭和三十七年市長に就任してからは、懸案の大洲病院、し尿処理場の完成、峠橋など流れ橋の架橋農業構造改善事業、あるいは大洲平野土地改良事業、総合的な観光開発、とくに武陵鉱泉の市内引湯の推進、また南中体育館をはじめ教育施設の充実を図るとともに、帝京第五高等学校の誘致、テレビジョン局の設置など、僅か二カ年

名誉市民に植木さん

造林業の発展につくす



市は、十二月二十二日の定例市議会最終日に愛大名誉教授、農学博士、植木秀幹さん（写真）―柚木―を名誉市民に議会満場一致で決めました。これでさる三十六年に選んだ加藤泰通さんについで二人目。市では一月一日市公会堂で行なわれた新年祝賀式にあわせて推戴式を行ないその功績をたたえました。

式は、助役の新年のあいさつについで、植木氏を永遠に名誉市民として推戴するという"贈号記"を贈り、岩村助役の手で"名誉市民章"が同人の首にしつかりとかけられました。この時、集まった二百数十名の市民は拍手で長い間の苦労とその功績をたたえていました。

植木さんは、植物学の権威で明治四十年韓国政府の招待で韓国農林学校教授となり、三十年間同国の緑化に成功するなど樹木の新種分布について研究、造林業の発展につくされました。

戦後、郷里の当市に引き揚げてからは、石鎚山系をはじめ、県内各地の森林植生について調査、とくに特用樹種を県内に導入するため、ハゼ、クリの新品種識別特性について試験研究、特用樹種の改良につとめ、地方産業教育の振興に貢献されました。また"石鎚山系の森林植生"、"類似および類名樹木図説"など多くの専門書を発行するほか、同氏が調査して指定した市の天然記念物も三十二件にのぼっています。

略歴

明治十五年九月生まれ、同三十七年七月東大林学実科卒、同年八月宮城県立農学校教諭、同四十年三月韓国政府の招待で同国農林学校教授兼林業技士として赴任、大正七年水原農林専門学校教授、同十一年米国ハーバード大学生物学研究所卒、昭和三年三月九大講師、同八年四月第五回大平洋学術会議（アメリカ・カナダ）に出席、同二十年九月朝鮮から郷里に引き揚げ、二十一年五月県立農林専門学校講師、同二十四年十月県立農科大学、同事務取り扱い、同二十九年五月愛大農学部教授となり同三十二年愛大名誉教授となる。

また、昭和十三年勲三等賜瑞宝、同十七年朝鮮文化功労章受、同二十一年には勲二等賜瑞章、従三位、同三十六年県教文化賞を受賞、現在は柚木の宅にこもり市文化財専門委員として、"木を愛する会"を作り郷土の珍しい樹木の保存に力を注ぐ一方、老人クラブ"肱南長寿会"の会長として社会福祉の向上のためにも積極的に活躍している

農業センサス

1日いっせいに

農林省では世帯や事業体のすべてを一斉に調査するものです。最近の日本経済の高度成長の影響を受けて、農業は急速な変化を見せはじめ、農村の労働力の流生、農業の工場敷地や宅地への転用などが進んでいる反面、新しい農業技術や、農業機械施設がとり入れられ、農業生産のための新しい組織や農業経営の改善が積極的に進められています。

今回の農業センサスは、農家の国勢調査で農業センサスを実施することになりました。

この農業センサスは、二月一日を調査期日として、農業を行なう世帯や事業体を対象として、農業の実態を調べ、農業の新得をふやし、農家の生活の向上をはかるための農林行政の基礎資料を得るために行なう重要な調査です。

この重要な二月一日の農業センサス実施に当っては、農家の皆さん方のご協力をお願いいたします

不良食肉にご注意

◎不良食肉は、責任の所在を明らかにしない方法で売られます このため殆んどが行商により肉を販売するか、注文販売の形式をとります。

◎このような肉を買うことは、衛生上大変危険なことで、密殺肉や病死獣の肉など検査を受けないため、中毒など恐しい病気にかかることがあります。

◎このような肉は、一見価格が安いようでも割高いものになります。それに、たとえ検査を受けたものであっても、古いものや他の悪い肉（山羊、めん羊）を混ぜているからで、現在の家畜の価格からして食肉店で販売している価格より安く販売できないのが普通です。

◎密殺肉や、へい死獣の肉など検査を受けない不良肉はこれを取扱った者はもちろん、買った者も処罰されます。

◎食肉の行商は許可されておらず、違反行為です。食肉は、必ず正規の許可を受けた店で買ってください。

大洲保健所

防火のヒント

○燃えにくく

防火のためには、火を使用する器具とその周囲の危険を除去することです。

第一に不燃化、すなわち燃えやすいものを燃えにくいものに置きかえる方法

第二に熱しやだん、すなわち燃やすいものを熱が伝わりにくいようにする方法

この二つの方法が多く用いられています。

例えば、コンロを使う台やそのまわりをモルタルで造り、タイルを張るなどは不燃化の例です、また風呂場のたき口附近の柱などにしやだんの方法です。

○空気を使う

金属は燃えにくいものです。だからといって炊事場の腰板にトタンやブリキを張りつけてこれで不燃化ができたと思ったら大きなまちがいです。金属は燃えにくいけれども熱を伝えやすいものです。つまり金属はあつくなりやすいので表の金属は燃えなくても裏の板が炭化し燃えだすことになるからです。この場合には、トタンやブリキと板との間に空間を作ること。つまり空気をサンドイッチにすればよいのです。これは、金属の燃えにくい性質と空気の熱を伝えにくい性質を上手に組合せたもので、金属板から熱をうけた空気は上方に流れて冷えていき、その結果熱が板に仲々つたわらなくなります。

○実行が第一

防火の措置として二つの例をあげましたが、これを生かすために大切なもう一つのことがあります。それは頭を使うことです。いまの暮しの中には、合理的で、スマートな防火のくふうをする余地がまだまだあると思います。そしてこのことは、実行に移して始めて防火の効果があります。

大洲の文化財

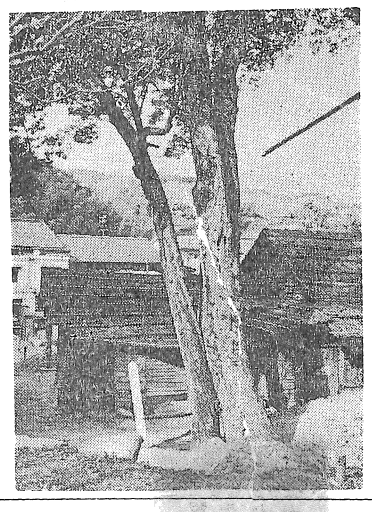
―大洲市指定天然記念物―

オガタマ・アラカシ抱合樹

（昭和31年指定）

神社に奉つたものだとも云い伝えられており、ユズリハなどと同様におめでたい神聖な木として大洲神社、大竹の少彦名神社、阿蔵の八幡神社、上須戒猿屋の天満宮などに植栽されています。

天満宮のこの木は、市内オガタマノキのうち最大級のもので近くにあるアラカシと抱き合った珍らしい形をしています。二本の木は目の高さの所で樹皮が互いに癒着の状態にあり、年が経つに従って次第に材部まで癒着を深めて、益々奇形の価値を高めることでしょう。オガタマノキの目通り周は、二、二五メートル、高さは一九、五メートル、地上四メートルで二又になっています。またアラカシノ目通り周は、一メートルあります。



（写真は上須戒猿屋の天満宮にあるオガタマとアラカシの抱合樹）

（大洲市教育委員会）

森永前市長に叙勲

十九日、森永前市長に従五位、勲四等瑞宝章が叙勲された旨、霊前に報告されました。

"二月十一日"市長選挙

さる十九日、市選管委が委員会を開いて決定した次期市長選挙の日程によると、二月三日立候補届出受付開始、同六日受付け期限、同十三日投票、即日開票となっています。また、開票は従来と異なり二十六カ所の投票を市公会堂に集めて行なうことになります。

この投票日は、十曜日にあたり来のとおり午前七時から午後まで投票ができます。投票された投票は、午後八時までに市公会堂に集められ、即刻開票、夜半すぎには新市長が誕生することになる見込みです。

このたびの選挙は、今後四年間の市政をゆだねる非常に重要な意義をもつ選挙で、われわれが市政に参与する一つの機会でもあります。

およそ市政の健全な発展をはかるためには、選挙が公明かつ適正に行なわれなければなりません。それには選挙人一人一人が金力や情実に左右されることのないようしっかりした自覚のもとに選挙権を行使することです。

有権者のみなさんは、われわれの身近かな代表者を選ぶために公明選挙でのぞみ、一人の棄権者もないよう、こぞって投票いたしましょう。

▽開催年月日
二月九日（九時から十四時まで
▽場所
大洲市役所
階上ホール

農地相談

農地、開墾地の相続、売買、返還、転用、小作料の問題、境界紛争、訴訟、調停、農業生産法人、農地の信託等無料で相談に応じます。

愛媛県農地拓植課
大洲市農業委員会

三月末に消防署設置

十二月市議会できまる

十二月の定例市議会は、十六日招集、七日間の審議を終え、二十二日閉会しました。審議された案件は、議案二〇件、請願、陳情三件、うち可決されたものは、全議案と請願陳情のうち三二件を採択、三件を不採択、残りは継続審議となりました。

八日の本会議において、三十度の財政見とおし、観光行政政策などの質問に対し、助役のように答えました。

二十九年度の財政は、必ずしも楽観できないが、財産処分、特別交付税に期待している。消防署は月末に設置、職員十六名で予防消防に力を注ぐ。温泉開発については四十年度に予算化し、県の計画との位置づけを明確にして、広域な観光行政をすすめ、県営でできるよう努力するなど

なお、可決された議案のおもなものは次のとおり、

○一般会計補正予算

追加額は、三千六百三十六万円で、そのうち歳出のおもなものは、職員の退職手当八百八万円、職員給与改訂費千五十一万円、交際費五十万、農校畜産科設置補助等五千二万円など（以上総務費二千七十四万円）新谷じんかい処理場施設費六万円（保険衛生費二十七万円）一般失業対策事業費賃金二百六十九万円ほか（労働費二百七十二万円）農協合併推進協議会補助十万円桑萎縮病の防除対策費補助六十九万円、飼料改良増産奨励費と畜産振興費に二十三万円など（農林水産業費百二万円）道路維持費五十万円、道路改良費、二百八十万円など（土木費三百五十五万円）小中学校の施設修繕費等に百三十五万円ほか（教育費二百八十六万円）など、歳入財源は、市税百七十五万円、地方交付税千三百九十六万円、県支出金二百三十万円、財産収入二百七十四万円、諸収入一千四百三十七万円、市債八百万円など

○消防本部など消防署設置条例

常設の消防署を市役所内に置き本年三月末に発足させることになりました。

○名誉市民の選定について

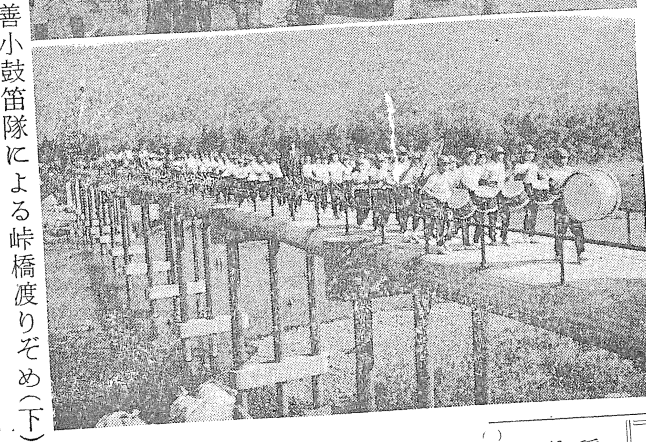
大洲市の名誉市民に植木秀幹さんを推戴することに満場一致の同意をしました。（一頁参照）

○人権擁護委員の推せんについて

稲沢卯治郎委員の任期満了により、同人を再選することに同意しました。

○職員等の給与条例の改正

市議会議員と一般職員の給与を国家職員に見合うよう改正されました。



三善小講堂落成（上）　三善小鼓笛隊による峠橋渡りぞめ（下）

三善小講堂落成

＝二つの橋も＝

○一五郎の慶雲寺橋、三善の峠橋のかけかえ工事が完成さる十二月十日に渡りぞめを行ないました。また待望の三善小学校講堂の新築工事もおわり同月十五日その完成を祝いました。

○一の橋は、木造流れ橋であつのを市が災害復旧工事とし昨年十一月から着工していの。慶雲寺橋は、総工費五十万円、長さ百十メートル脚が鉄筋コンクリートの永、峠橋は総工費九百八十万円、長さ百十メートル巾二、四メートルで鉄筋コンクリートの永久橋

○三善小講堂は、地元民の要望で新しく建設されたもので、これまでは公民館を使用していたため、そのようこびも大きい。一昨年十一月着工、総工費三百九十万円、延三百三十六平方メートル（百二坪）の木造建。

一農事メモ

年のはじめに

＝経営あれこれ＝

◉一年のはじめに当り「今年こそは」と思うのは人の常、今のうちに十分経営内容を検討して出発したいものです。

◉一作っておればよいと思う人たちは、経営者らしき経営者ではなく生産者です。

◉一余裕（ゆとり）がなければよい方向に拡大はできません。人間の歩みも一本足では前進できません。

◉一土地の余裕は、まし悪しを別として、出てくる傾向を示しています。

◉一労働力は、二人でやれるのを三、五人でやっていないだろうか。○、五人の余りの農家も見かます。労働力は貴重な資源でることも見逃してはならないしよう。

◉一金は前者とからみ合わせ資本、労働、の余裕とにかく何かを作るのだと行る事が先行している向きが多いのではないでしょうか

◉一人手はあるが土地が少なく働けない場合は潜在失業者であり足りないのは土地一つとなります。

一、余る場合は土地の状態をよくするか、再生産（生活）に回すか等の二面があります。

一、過剰投資は使う工夫をすることであり、悪いのは過剰借金です。改善のためには前進

作つて前進て考えるべきで、財産（山林など）を資本に替え、拡大することも一手段でありましよう。

◉一金がありすぎる人は少いもので……どの型の剰余があるかを考えて有効に活用したいもの

◉一希望と意欲のある前進には後継者も嬉んで残るでしよう

◉一毎年就業人口の一％づつ農業は減っており伊藤博士によれば、全人口の一〇％台になつた時何らかの低抗が生ずるといわれ、成長産業になる可能性も多分にあり、全国一五万集落のリーダーとなる農家の芽生えに期待したいものです

大洲農業改良普及所

と同じく片足を休めるような不合理もつきもの

くに婦人の労働力が必須になっている現状です。

厳寒時の作業衣を工夫して、元気でこの冬を切りぬけましよう。それにはこんな作業衣はいかがでしょうか。

足もとからの冷えをふせぐために、厚手のナイロン毛糸あみのタビをはき、その上に地下たびをはく。モンペの下ばきも、毛糸のズボン下の上に、ネルなどの保温性のある布で作ったズボン下を重ねると、寒風よけにもなつて暖かです。

上に着るハンテンはひざのあたりまでの長さに作ると、畑への往復のオーバー代りにもなりましよう。

14件を指定

市の文化財（6次）

市指定の文化財は市発足以来五回にわたつて指定してきましたが、昭和40年1月1日一覧表のとおり才6次指定をしました。いずれも古くから大洲に伝わつてきたもので所有者の宝であるばかりでなく、大洲市の宝として永く伝えたいものです。

（大洲市教育委員会）

才6次大洲市指定文化財一覧表

番号	種別	名称	員数	所有者
1	有形文化財	紺紙金泥大般若経	1巻	大洲 竜護山 曹溪院
2	〃	大洲藩主加藤家歴代画像	14幅	〃
3	〃	盤珪国師肖相	7幅	油木 如法寺
4	〃	盤珪国師墨跡	15幅	〃
5	〃	盤珪国師写経	4巻	〃
6	〃	盤珪国師筆水墨達磨図	2幅	〃
7	〃	木造薬師如来坐像	1軀	阿蔵 円満寺
8	〃	木造地蔵菩薩立像	1軀	大洲 中町一 町目 地蔵堂
9	〃	備前焼大かめ	1個	手成 西禅寺
10	〃	刀 銘隆国	1口	大洲 西尾実
11	〃	脇差 銘岡本隆国	1口	〃
12	〃	刀 銘予州大洲藩岡本治郎九郎源隆国	1口	大洲 高井政生
13	〃	刀 銘予州大洲住広宣	1口	〃
14	天然記念物	横野の藤	1株	久保 八坂神社

市内指定文化財件数　（昭和40.1.1現）

国指定文化財　4件

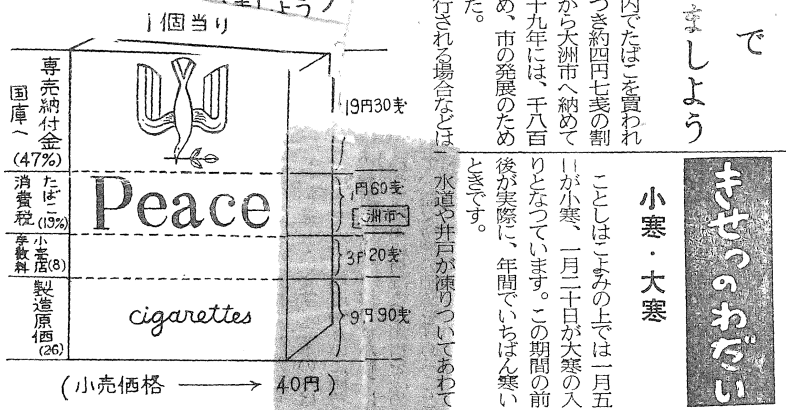
県指定文化財　11件

市指定文化財　69件　内訳　有形文化財 17件　史跡 12件　名称 3件　天然記念物 37件

なこは内でいましよう

才市内でたばこを買われるたつき約四円七銭の割合会社から大洲市へ納めてお三十九年には、千八百十納め、市の発展のためにした。

旅行される場合などは市内で買つて行くよう心掛けて、市の発展に協力しましよう。



きせつのわだい

小寒・大寒

ことしはこよみの上では一月五日が小寒、一月二十日が大寒の入りとなつています。この期間の前後が実際に、年間でいちばん寒いときです。

水道や井戸が凍りついてあわてることのないよう、十分な保温工夫がいります。

大寒の前後は、晴れた日がつづきますが、これは北から南下してくるかわいた冷い空気が本州をおおつていて、南方の低気圧が北上できないからです。

寒波の勢力がおとろえて、南方の低気圧が近づいてくると、その接線に不連続線が生じて、雪や雨をふらせます。その時季がだいたい二月の立春以後となるわけです大雪が一月よりも二、三月に多いのはそのためです。

戸外の婦人作業衣

どんなに寒くても、農家では戸外作業に出ていかねばならず、と

電気豆知識

○一タコあげは、電線付近ではしないように

電線の近くでタコあげをすると、タコの糸や尾が電線にふれて大きな事故をひき起し、停電するばかりでなく、場合によつては感電し、尊い生命にかかわることもあります。必ず電線にふれる心配のない所や、交通事故の起らないところを選ぶように、注意しましよう。

○一電線にタコの掛つたその電柱には絶対にのぼらないように。

タコをとろうとして電柱にのぼり感電した実例がたくさんあります。

○一電線に引掛つた場合は、すみやかに電力会社に連絡しましよう。

電気の災害事故を防いで冬の遊びタコあげをいつそう楽しいものにいたしましよう。

広報のしおり

▽一月の健康

お正月はとかく生活が不規則になり、食べすぎ、飲みすぎ、夜ふかしなど、健康の方が忘れられがちです。また炭火による中毒事故の多いのもこの月です。

とくに、かぜをほつておいて、肺炎になつたり、老人の中風などがおこりやすい季節ですから十分注意をしたいものです。

それから、とかく軽く考えられがちな〝せき〟についてもつと関心を持つ必要がありましよう。せきはとくにこどもさんにはありふれたことなので、見過されてしまいます。

せきがでるからといつて、せきを作つて前進

せきはつきものだくらいに考えがちですが、これも危険で、うつかりすると老人性結核というような場合があるそうです。自分はたんもちだからとか、ぜんそくが持病だからなどといつてほつたらかしておくと、案外、家族内感染としてたいへんな結果を招くおそれがあるということです。

▽厳寒時の食事

きびしい寒さも食事のとり方でも防げるといわれます。

北海道、東北の雪国では骨の発育に必要なビタミンDの欠乏がおこり勝ちだそうです。これをふせぐには、レバー、卵、牛乳などがよく、魚のひものやしいたけも有力なビタミンDの補給食品です。

野菜類も不足勝ちな時期で、ビタミンCのとり方も不十分になります。これが極端に不足すると壊血病にかかりますし、カゼをひきやすくなつたりします。このビタミンCを補つのにいちばんの代表は、ミカンと大根おろし、一日一個のミカンと一日一回の大根おろしはかかせない食品です。

また寒いときはビタミンBの消費がたかまるといわれます。これを補つのに豆類がいちばんです。とくに落花生はすぐれています。一日十つぶでよいということですただし注意したいことは、ふとり気味の人、血圧の高い人、心臓の弱い人は、油類をとりすぎると、かえつて逆効果です。

要は年令やに食事をとることです。

止めを与えればよいというものでなくて、せきの原因をお医者さんに確かめてもらうことが先決です

老人のせきも同様でとしよりに止めを与えればよいというものでなくて、せきの原因をお医者さんに確かめてもらうことが先決です

熱

新生活設計
簡易保険新加入運動
2月～3月
主催　郵政省
後援　大蔵省、文部省、日本国有鉄道
日本電信電話公社　日本住宅公団　日本放送協会